

## 医療機器標準コードマスタ（表1）について

医療機器標準コードマスタ(表1)は、医療機器データベースにて公開されているデータのうち、特定保険医療材料として償還される製品のデータであって、医科・在宅・調剤の区分に関わらず1つJANコードに対し特定保険医療材料名が1つだけ結びついているデータの一覧です。

データは、CSV形式のテキストデータで、構成項目は次のとおりです。

- |                 |                        |
|-----------------|------------------------|
| 1. 行No.         | 8桁の数字(表1では、先頭の1桁目は「1」) |
| 2. JANコード       | 13桁の数字                 |
| 3. 再製造フラグ       | 1桁の数字 初期値:0 再製造品:1     |
| 4. 商品名          | 最大200桁の文字列             |
| 5. GTIN14       | 14桁の数字                 |
| 6. 数量(個装の総数量)   | 最大6桁の数字                |
| 7. JMDNコード      | 8桁の数字                  |
| 8. 医事コード        | 9桁の数字                  |
| 9. 機能区分コード      | 現行最大13桁の英数字            |
| 10. 製造販売業者名     | 最大60桁の文字列              |
| 11. 確認日         | 10桁の数字(西暦YYYY/MM/DD)   |
| 12. 特定保険医療材料名メモ | 最大200桁の文字列             |

データは、GTIN14ごとに1行とし、1行ごとに『行No.』をふってあります。  
この『行No.』は、不変とし、再利用はしません。  
初期データ(2018年5月公開)は、JANコードの順に並んでいます。  
それ以降、登録されたデータについては、順次、次の『行No.』が割り当てられます。  
すでに登録されていた製品に後から荷姿が追加登録された場合は、追加された荷姿のGTIN14には、新しい『行No.』が割り当てられますので、その際には、JANコードの順番で並び替えをすれば、同一JANコードのデータをまとめて見ることができます。

## 医療機器標準コードマスタ（表2）について

医療機器標準コードマスタ(表2)は、医療機器データベースにて公開されているデータのうち、特定保険医療材料として償還される製品のデータであって、医科・在宅・調剤の区分に関わらず1つJANコードに対し特定保険医療材料名が複数結びついているデータの一覧です。

データの項目等は、(表1)と同様です。